

令和元年度

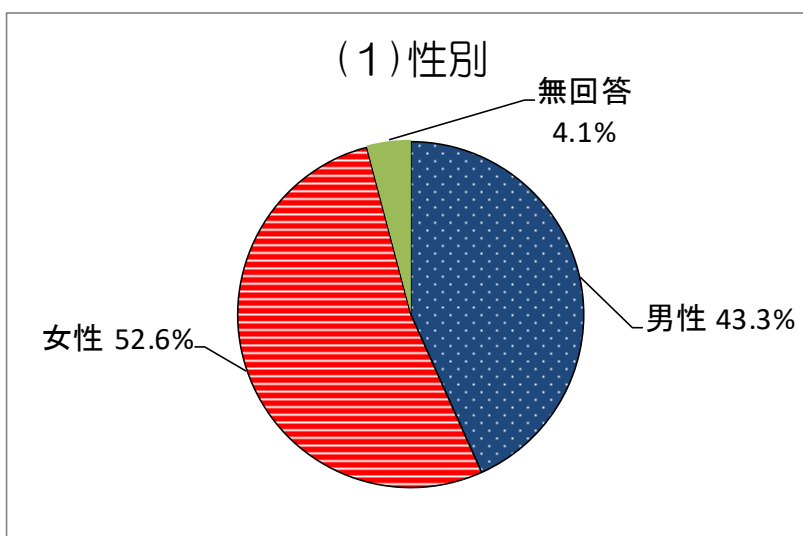
第3回市政モニターアンケート結果

朝霞市 市政情報課

- テーマ ①朝霞市の市民活動について
②朝霞市の野良猫対策について
③障害のある人とない人が共生できるまちづくりについて
- 実施期間 令和元年12月12日(木)から令和元年12月26日(木)まで
- 調査対象者 朝霞市市政モニター 307名
- 回答者数 171名 回収率 55.70%
- 回答者の属性

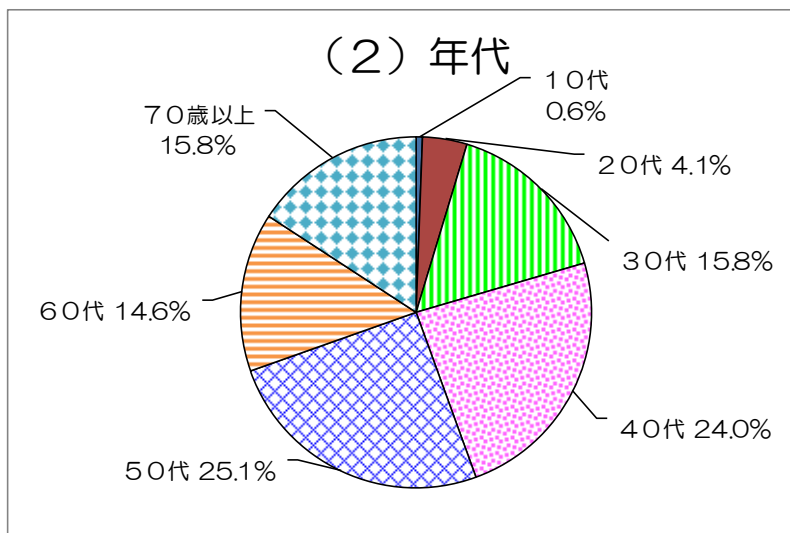
(1) 性別

性別	人数	構成比(%)
男性	74	43.3
女性	90	52.6
無回答	7	4.1



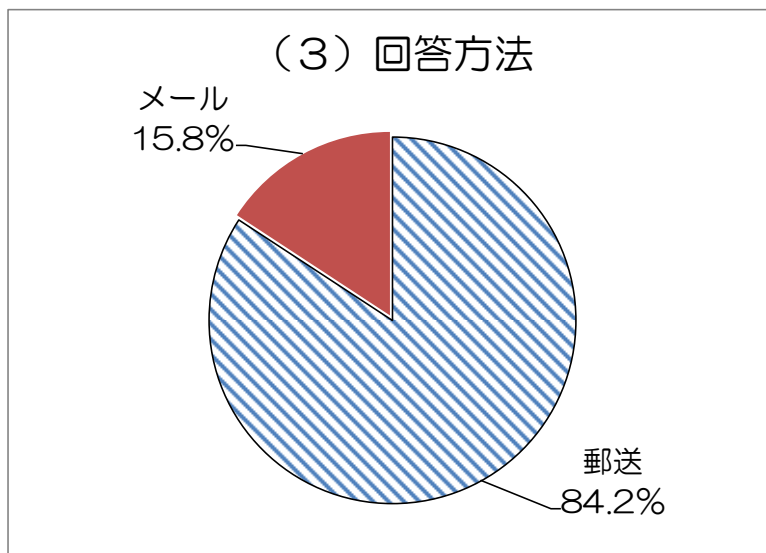
(2) 年代

年代	人数	構成比(%)
10代	1	0.6
20代	7	4.1
30代	27	15.8
40代	41	24.0
50代	43	25.1
60代	25	14.6
70歳以上	27	15.8



(3) 回答方法

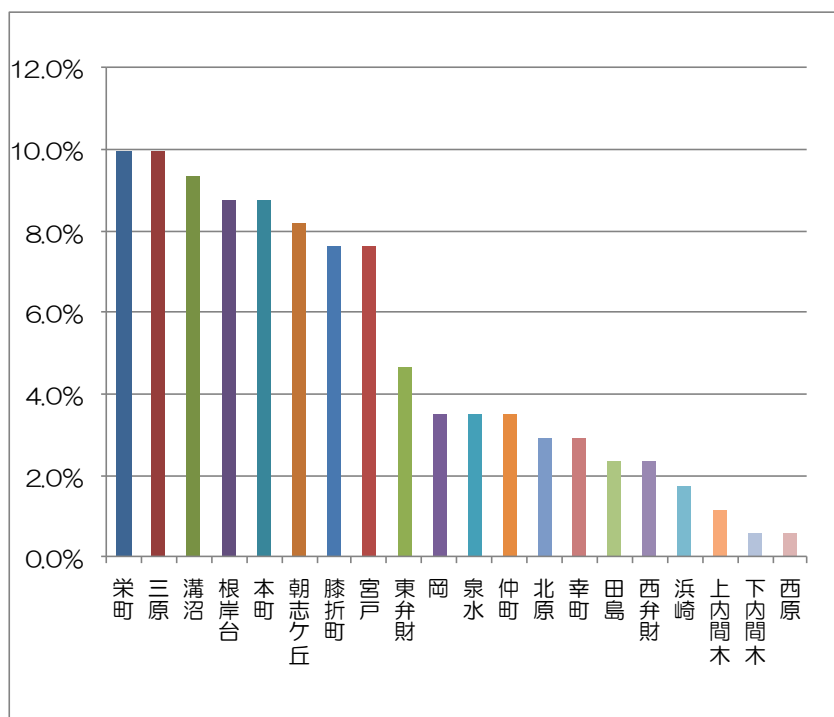
回答方法	人数	構成比(%)
郵送	144	84.2
メール	27	15.8



(4) 地域

地域	人数	構成比%
栄町	17	9.9
三原	17	9.9
溝沼	16	9.4
根岸台	15	8.8
本町	15	8.8
朝志ヶ丘	14	8.2
膝折町	13	7.6
宮戸	13	7.6
東弁財	8	4.7
岡	6	3.5
泉水	6	3.5
仲町	6	3.5
北原	5	2.9
幸町	5	2.9
田島	4	2.3
西弁財	4	2.3
浜崎	3	1.8
上内間木	2	1.2
下内間木	1	0.6
西原	1	0.6
青葉台	0	0.0

(4) 地域



※ 構成比率は、回答者数を基数として百分率(%)で表示しています。百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の場合は、構成比率の合計が100%を超える場合があります。

※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載していますが、一部表現を修正しているところがあります。

○テーマ1 朝霞市の市民活動について

朝霞市では、市民活動（※）を行っている方等の拠点施設である市民活動支援ステーション・シニア活動センターにおいて、情報の提供や相談、また、地域で活動するきっかけづくりの講座等を実施しています。つきましては、今後の施策展開の参考とするため、皆さんの日ごろの市民活動に関する意識などについて、お伺いします。

※「市民活動」とは、自発的な意思に基づき、豊かで活力ある地域社会の実現を目指して社会に貢献しようとする活動であり、主なものとして、福祉や環境、健康などの分野におけるNPOやボランティア団体などの活動が挙げられます。

問1 あなたは、市民活動支援ステーション・シニア活動センターを利用されたことがありますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
利用したことがある →問3へ	8	4.7
利用したことがない	163	95.3

問2 問1で「2. 利用したことがない」と答えた方にお聞きします。利用されたことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

回答内容	回答件数	構成比 (%)
施設の存在を知らなかったから	110	69.2
利用する必要がないから	45	28.3
何をしているかわからないから	72	45.3
どこにあるか知らないから	47	29.6
その他	4	2.5

※回答者数 159人

【その他の御意見】

- 利用する機会が今までになかった。（40代 男性）
- 個人でボランティアをしているから。（50代 女性）
- 現在、フルタイムにて会社勤めをしており、土日祝は孫の野球試合の応援等にて多忙のため。（70歳以上 男性）
- 今回初めて知りました。（70歳以上 女性）

問3 あなたは現在、市民活動をしていますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
はい	22	12.9
いいえ →問7へ	149	87.1

※回答者数 171人

問4 問3で「1. はい」と答えた方にお聞きします。市民活動を始めたきっかけは何ですか？
（あてはまるものすべてに○）

回答内容	回答件数	構成比 (%)
時間に余裕があり、何か活動したいと思った	5	23.8
社会貢献をしたいと思った	14	66.7
周囲の人から勧められた	2	9.5
趣味や特技を生かしたいと思った	7	33.3
友人を増やしたいと思った	2	9.5
市や市民活動団体の広報・ホームページを見て	5	23.8
市や団体の事業に参加してみた	2	9.5
その他	2	9.5

※回答者数 21人

【その他の御意見】

- 妻の助言。（60代 男性）
- オリンピック。（30代 女性）

問5 問3で「1. はい」と答えた方にお聞きします。市民活動を始めたのは何歳ごろですか。また、市民活動を試みようとして、考え始めたのは何歳ごろですか。（該当欄に○）

	30代 以前	40代	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上	覚えて いない	無回答
市民活動を 始めた年齢	5	5	3	4	0	5	0	0	0
構成比 (%)	22.7	22.7	13.6	18.2	0.0	22.7	0.0	0.0	0.0
市民活動を 考えた年齢	5	5	2	5	1	3	0	0	1
構成比 (%)	22.7	22.7	9.1	22.7	4.5	13.6	0.0	0.0	4.5

※回答者数 22人

問6 問3で「1. はい」と答えた方にお聞きします。市民活動をして良かったと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

回答内容	回答件数	構成比 (%)
新しい友人・知人を得ることができた	16	76.2
地域住民との仲が深まった	10	47.6
知識・情報が増えた	16	76.2
時間を有意義に使えるようになった	6	28.6
健康になった	7	33.3
家族との関係が良くなった	3	14.3
その他	2	9.5

※回答者数 21人

【その他の御意見】

- 喜んでいただけること。（50代 女性）
- 時間、相手に対する責任。（70歳以上 女性）

問7 問3で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。あなたが、市民活動をしない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

回答内容	回答件数	構成比（%）
興味がないから	20	13.4
面倒だと思うから	21	14.1
忙しいから（仕事・家事・子育て・趣味など）	83	55.7
人付き合いが得意ではないから	22	14.8
参加方法がわからないから	58	38.9
きっかけがない	78	52.3
特に理由はない	29	19.5
その他	6	4.0

※回答者数 149人

【その他の御意見】

- 人間関係にまた苦労するのではないかと思ったから。（70歳以上 男性）
- 知らなかったから。（40代 女性）
- やれることがあるのか？（30代 男性）
- まだフルタイムでの仕事があるため。（60代 男性）
- 健康が不安定。（40代 女性）
- 外出することが困難なため。（50代 女性）

問8 問3で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。市民活動についてあなたの考えに最も近いものはどれですか。

回答内容	回答件数	構成比（%）
まったくやりたいと思わない →問10へ	15	10.1
興味はある	53	35.6
いずれは活動したいと思っている	41	27.5
活動をしたい	3	2.0
わからない	44	29.5
その他	0	0.0
無回答	2	1.3

問9 問8で「2. 興味はある」～「6. その他」を選択した方にお聞きします。どのような後押しがあれば、より市民活動をしようと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

回答内容	回答件数	構成比 (%)
知人、近所の人などから誘われる	30	26.1
始め方の参考になるパンフレットなどがある	60	52.2
始める前に体験ができる	42	36.5
活動している人から話を聞く機会がある	35	30.4
広報あさかや市ホームページに情報が掲載されている	45	39.1
自分に合った活動を紹介してくれる窓口がある	49	42.6
わからない	5	4.3
その他	2	1.7

※回答者数 115人

【その他の御意見】

- ・ 定年してから？（50代 女性）
- ・ SNSの専用アカウントがある。（30代 女性）

問10 広報あさか（2か月に1度・奇数月）で市民活動団体の活動情報等を掲載している「市民活動ニュースレター」をご覧になったことがありますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
はい	41	24.0
いいえ →問12へ	130	76.0
無回答	-	-

問11 問10で「1. はい」と回答した方に伺います。記事の内容が、読者の興味をひくようなものだったかどうか、という観点から感想をご記入ください。

- ・ あまり興味が出なかった。（40代 男性）他同意見1件
- ・ 広報あさかは拝読しているが、そのページを読んでいないと思います。記憶にないので。（40代 女性）
- ・ 朝霞市の多文化推進サポーターに登録をしているので、AISの活動は興味を持って読んでいます。参加するまでの気持ちの余裕はありません。（40代 女性）
- ・ 今のところ、通学や趣味、課外活動が忙しく充実しているため、地域の活動に参加する予定はないが、何か趣味を持って活動する人が地域にいるとわかって良かった。（20代 女性）
- ・ 覚えていない。（50代 女性）
- ・ ニュースとして見ていることが多く、今自分から進んで参加をする気持ちがないことに気付く。現在、週3回、月14回余り仕事をしており、また、親友との付き合いもあり、興味以前のニュースとして見ていることが多い。（70歳以上 男性）
- ・ 自助努力に向かわせる必要を感じている。（70歳以上 男性）

- 飛びついて興味をひくようなものではない。内容がいまいちわかりづらいし、活動の幅（時間帯など）が狭い。（５０代 女性）
- 今問われても、思い出せるようなインパクトのある記事はなかったと思います。（７０歳以上 男性）
- 興味をひくことがなかったと思う。記憶にほとんど残っていない。（６０代 男性）
- 「読者の興味をひく」はなかなか課題が多いと思います。大勢が無関心が当たり前だからです。したがって、紙面に小さいながらも継続して記していくことが大切とおもいます。（５０代 男性）
- そこまで詳しく記載されていないと思います。（６０代 女性）
- 自分の活動に沿ったものではなかった。（７０歳以上 女性）
- 単に「このような活動をしている団体があるのだな。だから何なのか。」としか思わない。（７０歳以上 男性）
- 市内でどのような人がどのような活動をしているのかがわかるので、興味を持った。（４０代 女性）
- 関心がなかったので、記事の内容の記憶がない。今後は関心を持てると思う。（６０代 男性）
- 閲覧していますが、感想は特になし。（６０代 男性）
- 該当号が手元にないので、きちんと答えられない。この質問を偶数月にすることが市としてやる気があるのかと疑う。いつまでも手元に置いておくの？とりあえずアンケートとりましたですか？公務員の上から目線は昭和なら通用しても、令和ですヨ。（５０代 女性）
- ７月号の記事に興味を持ちました。年齢的にも身体活動（肉体労働）が関わる活動は難しい。学習面では参画も可能かなと少々興味あり。（７０歳以上 男性）
- 「ああ、やっているんだ」という程度の関心で、「自分も」とは考えなかった。（６０代 男性）
- 特別、興味をひくものではなかった。一読はさせていただきました。（６０代 男性）
- 記事レイアウトが目立たず、読み流してしまっていた。「催し、講座」の方が興味あるため、そちらをじっくりといつも読んでいました。（５０代 女性）
- 定期的にチェックするべきという認識です。（４０代 男性）
- どういった活動をしているかは多少わかりますが、興味を持つ待たないはそれぞれ個人によって違うのではないのでしょうか。（５０代 女性）
- たくさんの情報が載っている中に、普通に書いてあります。特に”見出し”的な目立つものがないように思います。たいがいの人はスルー・読み飛ばしをしていると思います。（５０代 男性）

- ・ 目にしたことはあるかな。よくわかりません。（70歳以上 女性）

問12 市民活動の理解を深める機会や、活動に参加してもらおう方策など、市民活動に関してご意見やご要望などがあれば、ご記入ください。

- ・ 活動をもっと周知するようにした方が良いと思います。（40代 男性）他同意見8件
- ・ 市民活動という概念が理解できていない。（50代 男性）他同意見2件
- ・ 広報あさかは毎回目を通してはいるが、全く気が付いていない。活動報告に特化したレポートなのか？体験、参加型であれば、事前告知申し込みに特化して参加を誘うような記事の方が目にとまるのではないのでしょうか？（40代 女性）
- ・ 今後時間ができたら参加したいと思う。体験会があると良い。（50代 男性）
- ・ 積極的に活動をしている人に記念品をあげる。（40代 男性）
- ・ Twitterを最近見始めました。合間にすぐ見られるので、記載があると理解しやすいような気がします。（50代 女性）
- ・ 自分の生活で手一杯なので、特に参加は考えていません。（40代 女性）
- ・ 広報あさかでの記事や駅、図書館等にポスターを掲示する等、身近に感じるPRをお願いしたい。（50代 女性）
- ・ 駅などにポスターを貼る。（40代 男性）
- ・ ボランティアを中心としての活動が望ましいと思料します。（70歳以上 男性）
- ・ アピール活動が足りない。興味を持ってもらう内容として魅力がない。ポイント制度等、活動に対してのリターンを設ける。（50代 男性）
- ・ 朝霞市にどのような団体があるのか、そもそもわかりません。（30代 男性）
- ・ 特定の方が活動している印象があり、生活にゆとりがないのが現状です。（70歳以上 男性）
- ・ 内容をもっとわかりやすく、参加しておられる方々の声など特集号のようなかたちも良いかと思う。同年代の方がいらっしゃるのか、写真とかでの紹介もあったら安心できる。（50代 女性）
- ・ 市民活動がどのようなものがよくわからない。そのため意見や要望もわからず、お役に立てずに申し訳ありません。（40代 女性）
- ・ SNSの活用、若い世代に参加をしてほしい。（50代 男性）
- ・ 市民活動より各町内会をベースにして支援を要する高齢者への支援がまず念頭にあり、市民活動という一段高い活動には少し控えめになります。まずは現在住んでいる近隣をベースに活動したい。（70歳以上 男性）

- どのような市民活動をしている人がいるかは定期的に発信してほしい。現時点で全く関心はないが、どのようなきっかけで興味を持つようになるかわからないので。（60代 男性）
- そもそも市民活動とは何か全くわかっていません。参加の仕方もわかりません。今、妻の介護中ですが、身近でできることがあればなーと思います。（70歳以上 男性）
- 広報あさかは毎回目を通してはいますが、市民活動についてはほとんど知りませんでした。今後はもっとよく見るようにし、子どもが大きくなって余裕ができたなら参加したいです。（40代 女性）
- JAとか公民館とか、公共的な施設で皆さんにイベントなどお知らせするとか…。（50代 女性）
- 朝霞市にゆかりのある有名人（世間的に）を用い、対談のコーナーを企画したらどうでしょうか。まずは行動の前に、市民一人一人の興味を向上させることが大切と考えます。行動に移っていただくことは、次の段階と思います。人の役に立つ喜びを特集することも一つと思います。（50代 男性）
- 広報あさかに「市民活動ニュースレター」などを掲載していただけたら理解が深まると思います。社協のボランティアの方々には仕事でお世話になっています。大変ありがたいと思います。（50代 女性）
- 子どもと高齢者関係が99%で平日活動が80%くらいなので、40代の働く世代、働き続けることに悩む世代が集まる、働く世代が励まし合う市民活動団体は存在しない。市民活動＝ボランティア活動という理解でよろしいでしょうか。実際、障害を持つ子ども、高齢者などのボランティアを探していますが、入りやすく続けやすいような団体が見付からないです。年に1回くらいホームページで検索はしています。高齢者とお茶会、お買い物補助、養護施設の子どもと接してみたい。以上がやってみたいことで、問い合わせはしてみました。曜日が合いませんでした。（40代 女性）
- どんな風に何をしているのか、全くわからないので何とも言えない。（50代 女性）
- 思い付かない。（70歳以上 男性）
- 積極性がないとそもそも市民活動そのものを知ることができないのが現状だと感じる。結果的に非常に狭いコミュニティでのみ市民活動が実施されていると思う。彩夏祭を通して、学校を通してなど「きっかけ」の多彩化を実施してほしい。（30代 男性）
- 参加方法、きっかけがなかった。今は活動しているつもりです。知人・友人を誘い、市民活動をして大変良かった。市のセンター、朝光苑など、いろいろと話を聞く窓口ができた。これからはより活動して、朝霞に住んで良かったと思える自分で生きたい。（70歳以上 女性）
- 今は平日、会社勤務をしているので、退社したら活動を考えてみたい。（70歳以上 男性）
- 行政のサポートをしっかりといただきたい。（70歳以上 女性）
- 活動内容はステーション・センターまで行かないとわからないのでは時間がかかるので、スマホでもわかるようにならないでしょうか。（70歳以上 男性）
- そもそも時間がない。（30代 男性）

- 市民活動とは何なのでしょう。NPOやボランティアの活動、あるいはそれに類似した活動であれば、それぞれ目的を持っており、その目的を達成するために活動をしているものと思われます。それらの団体の目的や活動、参加要領等の特集として年に1度くらい広報紙に掲載したら良いと思います。(70歳以上 男性)
- 必要なことだと思うし、高齢になっても人と関わりを持つことは大切だと思っています。ただ今は、毎日が忙しくて意見や要望を問われても、すぐには考えが思いつきません。申し訳ないです。(50代 女性)
- 朝霞台在住ですが、私が気軽に市民活動に参加できる1つとして、街の掃除だと考えています。勝手ではありますが、土日なら参加可能です。小さなことしか手伝いできませんが、参加したいです。(40代 女性)
- ”市民活動”がどのような活動をしているのかがよくわかりません…。広報あさかでの掲載は、現状のままで良いと思います。幼稚園、小中学校の家庭教育、学級教室で活動している方々のお話を聞く機会を作る。(40代 女性)
- インターネットで詳細な活動内容を見れるようにして、参加もインターネット経由でできると良い。(50代 男性)
- 私の中で、市民活動をしていこうという考えがなかったので、意見・要望は？と聞かれても、わかりませんでした。もっと広報・ホームページなどを見て、知識を深めていきたいと思いません。(50代 女性)
- 市民活動はどうしてもハードルが高いと思っています。個人でできるささやかなことで貢献しても市民活動としてとらえてもらえたらと思います。(60代 女性)
- 体験会とかで活動を理解したい。(60代 男性)
- 市民活動を行っている団体グループを一覧にして、ポータルサイトを市の公式サイトとリンクしてはどうか？(40代 女性)
- 市民活動という言葉自体初めて知りました。広報に掲載とありますが、それすら目に留まったことはありませんでした。PR方法に工夫があれば良いのではないのでしょうか。(50代 女性)
- 広報以外で市民活動団体の情報を載せているものはあるのでしょうか？広報は毎回目を通してありますが、自分のほしい情報しか見ていないので、もっと活動内容をPRしたいのであれば、他の方法が良いと思います。(40代 女性)
- 市民活動は経験のない人からすると始めるのにハードルが高いと思うので、積極的な呼び掛けが大切だと思う。活動を通してどんなやりがいを感じられるのかなど、具体的なエピソードをコラム形式で冊子、インターネットのサイト等で紹介してはどうか。(30代 女性)
- 朝霞市が魅力的な街づくりを考えた上での市民活動があれば参加したい。(60代 男性)
- 市の講座等に参加したいと思っても、平日ばかりで現役の年代には来るなどと言っているように思う、サークル等も同様。例えば以前、土日にわくわくどーむで教室を探してみたが、全くなくがっかり。個人で楽しむために土日は教室等を設定して良いのでしょうか。少しは考えてほしい。市役所が休みで職員が休みだから土日はなしではないですよね？(50代 女性)

- 1. 活動結果をもっと具体的に。興味を起こすような方法を研究されては？（マンガチックな単誌にまとめるとか）。2. 気軽に参加意識を向上させる、時・所・方法・伝達を通して、難しくならないようにすること。（70歳以上 男性）
- 安心安全信頼があった方が良いと思う。活動等の情報がわかるようにしてもらえれば良い。（50代 男性）
- 時間的に余裕のある高齢者の活用が、人員確保の点で重要と思います。若い方は男女問わず、仕事や家庭に追われており、余力は少ないと思います。（60代 男性）
- 「市民活動」と聞くとなかなか参加する勇気が出ないため、1～2時間で気軽に参加できる入門体験講座があれば自分としては参加してみたい。（50代 女性）
- 市民の皆さんも興味を持って読んでいる方もいらっしゃるでしょうが、多くの市民は知らない方が多いですよ。活動している側にも問題はたくさんありますよ。現状でいっぱい、広めることをしていない。（70歳以上 女性）
- 政党等が関わっていることがあるイメージがある。そうでないなら、そこをアピールする必要があるのではないか。（40代 男性）
- 朝霞には転入してくる家庭が多いためか、子育て世代がとても多いので、子連れで参加・参画できるものを企画していくと良いのではと思います。市民活動支援ステーションで、子育てイベント（カフェなど）をすとか、子育て支援センターで出張相談すとか、工夫をしても良いのではないのでしょうか。（30代 女性）

○テーマ2 朝霞市の野良猫対策について

昨今、飼い主のいない猫による糞尿被害などの相談が多く市に寄せられています。

こういった状況の中、朝霞市で推進しているTNR活動（※）をはじめとした、飼い主のいない猫対策に対する認識やご意見などをお伺いします。

※「TNR活動」とは、地域に住み着いた飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施して、これ以上増やさないようにし、元いた場所に戻す活動です。

※昨年度も同じテーマでアンケートを実施しています。その際にご回答いただいた方も、引き続きのご回答をお願いします。

問13 TNR活動を知っていますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
よく知っている	17	9.9
聞いたことがある	91	53.2
知らなかった	63	36.8
無回答	-	-

問14 不妊・去勢手術をした印として耳先をV字にカットすることを「さくら耳」または、さくら耳の猫を「さくら猫」ということを知っていましたか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
知っている	87	50.9
知らない	84	49.1
無回答	-	-

問15 さくら猫を見たことがありますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
はい（1～5匹）	20	11.7
はい（6～10匹）	8	4.7
はい（11匹以上）	4	2.3
いいえ	139	81.3
無回答	-	-

問16 市内でTNR活動をしている（協力している）団体を知っていますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
はい	15	8.8
いいえ	156	91.2
無回答	-	-

【「はい」と回答された方の御意見】

- ・ NPO法人にゃいどはーと。（40代 女性）他同意見4件
- ・ もめんいと。（40代 女性）他同意見2件
- ・ 富岡組。（40代 男性）
- ・ 名前は不明だが、本町の朝霞ベーカリーの近くの保護猫施設や旬菜すわんで紹介しているところ。（40代 女性）

- 団体名は知らないが、駅近くの沖縄居酒屋さん。(50代 女性)
- 団体名はわからない。(70歳以上 女性)
- そらとゆめ。(40代 女性)

問17 朝霞市で平成29年10月から実施している、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術をする個人に対して補助金を交付する制度が、令和元年度末で終了します。今後、野良猫対策として、市からの支援について希望するものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

回答内容	回答件数	構成比(%)
TNR(不妊・去勢手術)への補助	120	78.9
捕獲器の貸し出し	19	12.5
猫の譲渡会の開催	82	53.9
その他	16	10.5

※回答者数 152人

【その他の御意見】

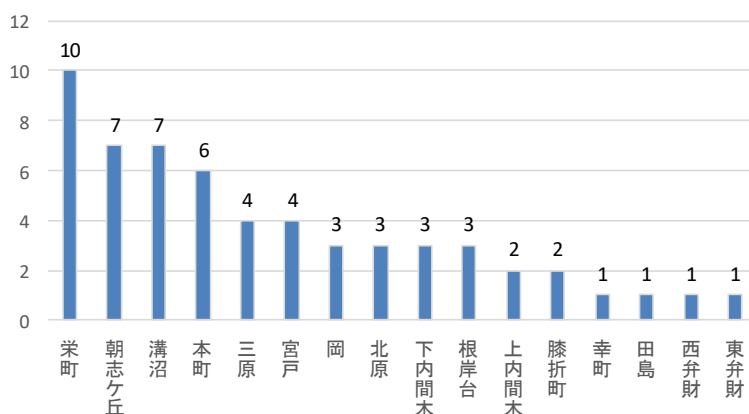
- 活動が効果的なのか、あまり自宅周辺で猫を見かけません。(40代 男性)
- 朝霞市では猫を飼うのを登録制にして、飼い主に関して飼うための注意や相談を受けられるようにする。(50代 女性)
- 猫と同居可能な住居に関する案内。集合住宅へ入居するにあたって、少しでも案内があれば、野良猫の引き取り手として入居を検討される方もいらっしゃるのではないかと思います。(20代 女性)
- 餌やりをしている無責任者への取り締まり、罰則の強化。(50代 男性)
- 市民への周知。(40代 男性)
- 市が金額負担して手術をした方が良い。または、町内会費や店頭で募金箱などを置いてetc。(50代 女性)
- わからない。(60代 男性)
- そういった制度があっても、個人で利用はしない。(30代 女性)
- 責任を持てる人に条件を提示してほしい。(70歳以上 男性)
- なし。猫は大嫌い。(70歳以上 女性)
- 猫に責任はありません!!(50代 女性)
- 猫を捨てるのは犯罪と知らしめる。(40代 女性)
- 野良猫に勝手に餌を与える人への対策。(40代 女性)
- 告知の方法が不足。(70歳以上 男性)

- ・ ボランティア活動に任せっきりにせず、朝霞市としてきちんと行うべき。(40代 女性)
- ・ 道で猫に餌をあげている人への注意・教育。(30代 女性)

問18 あなたが知っている範囲で市内において猫による被害はありますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
はい	55	32.2
いいえ →問22へ	73	42.7
わからない →問22へ	43	25.1
無回答	-	-

問19 問18で「1. はい」と回答した方にお聞きします。被害のある地域を教えてください。(あてはまるものすべてに○)



問20 問18で「1. はい」と回答した方にお聞きします。猫の被害の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

回答内容	回答件数	構成比 (%)
糞尿被害	43	78.2
鳴き声	25	45.5
子猫の出産・遺棄	9	16.4
その他	16	29.1

※回答者数 55人

【その他の御意見】 ※文末の()内は被害のあった地域

- ・ 車の上に乗って傷がつく。(栄町) 他同意見1件
- ・ ゴミを食べる。(朝志ヶ丘・栄町)
- ・ 鳩、カラス等々まで呼び寄せ、餌やりによる不衛生等々。(栄町)
- ・ 市外から餌をやりに来る人によって、不衛生な状況がある。(上内間木)
- ・ 車のガレージ内に猫が侵入。知らないまま閉めてしまい、後日開けてみたら糞尿だらけ。暴れた猫が自転車などを倒してしまい、それが車にぶつかり傷付いてしまった。ご近所の方の被害です。後もう一つ。近所にとっても猫の糞尿の臭いが酷い民家がある。窓ガラスも割れ、ゴミだらけ。何とかしていただきたいです。(本町)

- ・ 節分の時に、玄関先のめざしを食べられた。それからはできるだけ届かないところへ置くようにした。（溝沼）
- ・ 機械式駐車場への入り込み。（東弁財）
- ・ キャットフードがバラまかれていたり、猫缶がひっくり返された状態で置いてある。（本町）
- ・ 庭で子猫が死んでいた。（本町）
- ・ 野良猫に餌付けをしている方が、餌を放置しているためにカラスが来る。カラスの糞も汚い。（北原）
- ・ 食べ残した魚（どこから持って来たかもわからない魚）。（田島）
- ・ 猫そのものよりも、餌やりを行う高齢者がいるため、集まってくる。（栄町）
- ・ 庭木、花壇を荒らす。（膝折町）
- ・ 駐車場に停めてある車のボンネットに足跡。（北原）

問21 問18で「1. はい」と回答した方にお聞きします。最近、猫による被害数はどうですか？

回答内容	回答件数	構成比 (%)
減った	8	14.5
減ったような気がする	18	32.7
変わらない	20	36.4
増えたような気がする	2	3.6
増えた	1	1.8
わからない	6	10.9
無回答	-	-

【減った（増えた）被害の内容】※文末の（ ）内は被害のあった地域

減った（減ったような気がする）被害

- ・ 猫をあまり見ない。（溝沼・本町・膝折町）
- ・ 鳴き声。（西弁財・三原・溝沼）
- ・ 糞尿。（朝志ヶ丘・栄町・岡）
- ・ 餌をやっている場所が減った。（上内間木・栄町）
- ・ 自宅の庭の糞尿が以前より減った。（本町・宮戸）
- ・ 駐車場の草の中の糞が減った。（宮戸・朝志ヶ丘）
- ・ 庭で子猫を産んでいた。（三原）
- ・ 機械式駐車場への入り込み。（東弁財）

- ・ 夜に捨てる人は相変わらずだが、ゴミの散らかり方が少ない。（栄町）

増えた（増えたような気がする）被害

- ・ ゴミをあさっている。（下内間木）
- ・ 子猫の出産が増えた。（上内間木）
- ・ 庭等に糞をされ、臭いがたまらない。後始末に苦慮しています。（膝折町）

問22 猫による被害を防ぐために、また、地域の環境のために、あなた自身はどこまでの協力が可能ですか。（あてはまるものすべてに○）

回答内容	回答件数	構成比 (%)
補助金を受けて猫に不妊・去勢手術をさせても良い	21	12.9
猫を捕獲するための罠をしかけるために、敷地内を提供しても良い	13	8.0
猫用トイレを自宅内に用意し、管理しても良い	4	2.5
協力しても良いが、何をしたらいいのかわからない	97	59.5
協力したくない	23	14.1
その他	24	14.7

※回答者数 163人

【協力したくない理由】

- ・ 被害を実感できていない、知らないため。（60代 男性）他同意見2件
- ・ 動物が苦手なため。（40代 女性）他同意見1件
- ・ 時間的余裕がない。（50代 女性）他同意見1件
- ・ 猫アレルギーで、症状が出るため無理です。（40代 女性）他同意見1件
- ・ 嫌いな動物である。（70歳以上 男性）
- ・ 寄付金だけならする。犬、猫はアレルギーがあるので、あまり近寄れない。（50代 女性）
- ・ 猫が怖い。（40代 女性）
- ・ 子育て、妊娠中。トキシプラズマが心配。（30代 女性）
- ・ 家族がアレルギーのため。（30代 男性）
- ・ 手がまわらない。（30代 女性）
- ・ 飼い主の責任だから。（50代 女性）
- ・ 家族の理解が得られないためできない。猫は大好きだが、猫に餌はあげないように心している。（50代 女性）
- ・ 猫が苦手。ペット不可の住居のため、選択肢の1・2・3はできない。（50代 女性）

【その他の御意見】

- 賃貸かつ集合住宅に住んでいることもあり、敷地が関係する事項に関しては判断が難しいです。申し訳ありません。（20代 女性）他同意見2件
- 自身に被害がなければ、関心は特にはない。（40代 男性）他同意見1件
- 最近全く猫を見なくなった。（70歳以上 男性）
- 飼い主に全て責任がある。（70歳以上 男性）
- 自宅近くで猫を保護して、なつくなら飼いたいと思う。（60代 男性）
- TNR活動をされている団体の方へ、自分ができる範囲での寄付。（40代 女性）
- 自宅ではない。猫が嫌い。（60代 女性）
- 家の裏が猫を飼っているの、不仲になるのが困る。（60代 男性）
- 活動の全容を知らないためわからない。（30代 男性）
- 家に猫がいるので、他の子まで手をかけたくない。（60代 女性）
- 野良猫を集めている場所へ薬剤散布。（50代 男性）
- 今はできない。（70歳以上 女性）
- 近くの空き地や市の管理する空き地等で、捕獲するなど対策を考慮していただけると助かります。（50代 男性）
- 具体的な手続き方法とか、実施協力後をどうするのかわかりにくい。（70歳以上 男性）
- アレルギーの家族がいるため、協力できない。（50代 女性）
- 市役所に、電話による情報提供。（30代 女性）
- 仲町ではほとんど猫を見掛けないので、協力する機会がないと思います。（30代 女性）

問23 あなたは猫を飼っていますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
はい	17	9.9
いいえ	154	90.1
飼っていないが野良猫にエサを与えている	-	-
無回答	-	-

問24 国や県をはじめ、飼い猫は室内飼養が推奨されているのを知っていますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
はい	72	42.1
いいえ	99	57.9
無回答	-	-

問25 猫の問題について、ご意見がありましたらご記入ください。

- 猫の飼い主がしっかり管理すれば良いが、必ず生き物である以上飼い主が注意して管理することが必要である。(70歳以上 男性) 他同意見5件
- 野良猫が悪い訳ではなく、野良猫に餌を与えている人間側に問題があると感じる。餌を与えるにしても、周辺の住人に配慮せず、何も後始末を考えずにばらまくなど、問題ある行動が多すぎる。(40代 男性) 他同意見2件
- 室内飼養の徹底。(50代 男性) 他同意見1件
- 公園等に餌やり禁止の張り紙(掲示)があっても、餌を与えるお年寄りがいます。猫とのふれあいが生きがい(?)になっているとしたら、声掛けはできないと思ってしまう。(60代 男性) 他同意見1件
- 近所に野良猫はいないので、問題にはなっていないです。(60代 女性) 他同意見1件
- 猫も命ある仲間です。共に”今”を生きていることを考えていってほしい。(70歳以上 女性) 他同意見1件
- 特に被害がある訳ではないが、野良猫は一日に何度も見かける。(40代 女性) 他同意見1件
- 補助金制度が廃止になるのは良くない。何とか存続して団体に補助してあげてほしい。(50代 男性)
- 飼い犬、飼い猫に対する市としてのサービスが皆無に等しい。特に市内にドッグランがないことは今時あり得ないとも思える。(50代 男性)
- おしっこが臭くなければ良い。(40代 男性)
- 鑑札をつける。(70歳以上 女性)
- 室内飼育の推奨は初めて知りました。糞の被害にも、庭にいてもびっくりします。もう少し飼い主に責任を持ってもらうために、首輪に番号を登録するとか、猫を特定できるようにしてほしい。(50代 女性)
- 猫の問題に関して活動をされている方々がいらっしゃるとわかり、ありがたく思いました。動物の問題に関しては好き嫌い等の感情が先立ってしまいがちですが、実際に起こっている被害に関して住民が理解を深めることが肝心だと思います。協力要請に関して、手順や費用などよりも具体的に報じていただけると検討しやすく良いのではないかと思います。(20代 女性)

- 野良猫に餌を与える前に、不妊・去勢手術を受けさせる協力をした方が、未来にかわいそうな野良猫が増えないので、その時の状態だけを考えないような社会づくりを作っていく必要があると思う。（60代 女性）
- 我が家では、室内で猫を飼っていますが、「室内飼養が推奨されている」とは知りませんでした。（50代 女性）
- 近所の家々に、多く猫を育てている人がいて、猫が散歩しているのを見るのは日常ですから、意見としてはありません。（70歳以上 男性）
- 近所の小公園で超高齢者2名の女性の方が猫に餌を与え、啓蒙・市役所の方の指導にも関わらず継続しております。高齢者の生きがい、または猫を飼う施設を作成の検討はどうか。（70歳以上 男性）
- もっと議員や職員の方々に、自治会の火災予防の見まわり、声掛けのような活動を行うべき。また、学校で問題点等を子どもに伝え、認識を持たせ、不適切者へ声が聞こえる（餌をやりにくくする）ようにする。防災放送で日々呼びかける。（50代 男性）
- 飼っているのかいないのかわからないような感じで、野良猫にたくさん餌をあげている人がいて困る。餌をあげるなら、責任をもって去勢・避妊手術をし、他の人に迷惑にならないようにしてほしい。（40代 女性）
- この問題は以前アンケートしていると記憶している。その後の進展はあったのか？（70歳以上 男性）
- 現在は飼育していないが、以前は飼っていたこともあり、猫はとても好きな動物。でも外で飼うと周りに迷惑をかけることが多くなるので、やはり室内で飼うべきだと思う。（40代 女性）
- 猫がいればネズミ、カラスも近寄らないので良い面もありますが、糞害が問題ですので糞害対策を教えてほしい。（70歳以上 男性）
- 地域猫などがいるのかは不明だが、周囲に理解があればさくら猫にして皆で飼うのは賛成。（60代 男性）
- 最近全く猫を見なくなりました。4、5年前に金網を家の周りに設置していました。家の周りに猫を飼う人がいないので、全く意識していませんでした。（70歳以上 男性）
- 昔に比べて野良猫を目にする機会が減っているので、未だに対策が講じられているとは思いませんでした。協力している個人への補助金交付は今年度で終了するとのことでしたが、利用する人が多いようでしたら、継続をした方が良いのではないかと思います。（40代 女性）
- うちの昨年、練馬区のTNR活動団体さんから、保護した子猫を2匹引き取りました。これから犬や猫をペットとして迎えたいと考えている方には、ぜひペットショップにではなく、保護猫ちゃんのホームページや譲渡会などにまず行ってみたいと思います。（40代 女性）
- 被害があるのはわかる。でも避妊や去勢手術は人間のエゴだとつくづく思います。責任感のない飼い主に罰則を与えるなどした方が良いと思います。購入したり譲渡の前に、誓約書等が必須であれば良いのにと思います。（30代 女性）
- 猫に関する件は全てダメ。猫を見るのも聞くのもダメ…。（70歳以上 男性）

- ・私自身は近所で猫による被害の話聞いたことがないし、さくら猫も見なかったもので、正直何かしないといけないという切迫感が自分の中には感じられていません。（４０代 女性）
- ・動物愛護という観点と汚物被害の対応をどう折り合いをつけるか難しいが、国有林の払い下げを申請し、地区内にCat CenterとDog Centerを設置する。一般市民に公開し（一定期間）、一定保護期間を経過したCats&Dogsは殺処分し、墓碑を建立する。費用は国からの補助金と一般の寄付を主体に予算化する。（７０歳以上 男性）
- ・市内に画期的な「猫動物園」をオープンさせるのはいかがでしょうか。オス、メス別々に住まわせて、数も伸びないように。子どもたちには相当人気が出ると思います。そこに掛かる経費が発生しますが、NPOのご協力、また、現状の被害を考えた時に、実は大きな予算にはならないと思います。（５０代 男性）
- ・ここ１～２年、野良猫を見なくなりました。住宅が多くなり空き地が少なくなったからでしょうか？子どもが大きくなり、一緒に公園へ行く機会が減りましたが、昔は公園の砂場が猫のトイレになっていたのも、困っていたことを思い出しました。今もそうでなければ良いのですが。（５０代 女性）
- ・猫問題に税金で対処するのはおかしいと思う。飼い主の責務として、近隣に迷惑を掛けないことは最低限のルールであり、守れない人は飼うべきではないと罰則も設けるべきだと思う。（４０代 女性）
- ・餌やりの問題では「餌をあげる人＝猫の可愛さを味わう人」と「糞尿等で困る人」が別の人間であることが問題だと思う。問２２では「１．補助金を受けて猫に不妊・去勢手術をさせてもよい」と「２．猫を捕獲するための罠をしかけるために、敷地内を提供してもよい」には賛成だが、「３．猫用トイレを自宅内に用意し、管理してもよい」に関しては反対。猫用トイレを自宅内に用意するのなら飼った方が良いと思う。そもそもペットを飼うことに対して「税」を設けるべきだと思う。（３０代 男性）
- ・この何年か、猫の被害が減りました。（７０歳以上 女性）
- ・野良猫の餌やりをしている場所が汚れているので、清掃の実施と、餌やりを取り締まってください。（７０歳以上 男性）
- ・猫（動物）は飼っていると可愛いものです。自宅で責任を持ってください。（７０歳以上 男性）
- ・猫の糞尿被害、臭くてすごく迷惑している。（７０歳以上 女性）
- ・飼い猫が室内飼養推奨というのを初めて知った。（３０代 男性）
- ・猫も人間に関わる動物ですので、人間の環境と猫の生き方の調和を考えた施策がある（私には考えられませんが）と思います。専門家等の意見を聞いて、無理のない方法を取れば良いのではないのでしょうか。（７０歳以上 男性）
- ・犬でも猫でも、動物を飼う側である人間の責任が大きいです。譲渡会を開くなどして、殺処分などが行われないことを望みます。（５０代 女性）

- 私の地域は飲食街で駅前です。ネズミがよく飲食店の裏からチョロチョロ出て来るのを何度も見ましたが、近所の方がさくら猫を世話するようになったら、ネズミがいなくなりました。さくら猫は性格も穏やかです。猫が苦手な方もいると思いますが補助金をいただけるのであれば、活動する方々も助かるので、これからも活動費が必要だと思います。よろしく願いいたします。（４０代 女性）
- 近くの公園で、猫に餌をあげていたご老人がいて、その人と子どもが話しをしたことによると、そのご老人のお友達が引っ越しをすることとなったのだが、引っ越し先では猫が飼えないので、そのご老人に託した。けれどもそのご老人の家では猫が飼えないので、公園に寄付して日々ご飯をあげに来るとのこと…。結果的には野良猫に餌をあげているということですよ…。公園で餌をあげることで、他の野良猫も寄って来て、一緒に餌を食べているのではないかと思います。猫だけに関わらず、動物を飼う際には責任をもって最後まで面倒を見ることができないのなら、飼うべきではないと思います。（４０代 女性）
- 猫や犬は登録制にして、チップを埋め込み管理できるようにする（生死を含めて、行政管理する。費用は飼い主の登録料で賄う）。違反した場合は、罰金を科して野良猫や野良犬ができないようにする。もし飼うことができない状況になった場合、費用を飼い主に科して、譲渡させる。（５０代 男性）
- 野良猫に餌をあげている人に、行政の方（民生委員？）の方から注意してほしい。餌をあげている人の考え方を変えていかないと、この問題はなくならないと思います。（４０代 女性）
- 譲渡活動や地域のボランティア活動が行われているそうだが、まだ野良猫全般とはいえない。現に、家猫の寿命は１０年超えだが、野良猫の寿命は５年くらいと聞く。ふるさと納税などで寄付を呼び掛けてはどうか。（３０代 女性）
- NPO法人が管理しているのを見たことがあります、市も対策として一緒に行うと助かると思います。（３０代 女性）
- 野良猫に餌を与えないように看板などを立ててほしい。（５０代 女性）
- 当マンションでも猫を飼っている世帯は多く、犬よりも多いかもしれない。外に出すと、被害があるので、室内での飼育をお願いしているようだが、多頭所有している世帯の猫が悪さをしているケースがある。マンションでの規制も必要と思われる。（６０代 男性）
- 猫に限らず動物全般に言えるが、彼らに罪はない。特に猫の生殺与奪は人間に委ねられていると言っても過言ではない。捨てるのは動物愛護法への違反であり、犯罪とまずしっかり周知した上で、これ以上「野良」が増えないようTNR継続を行い、「アサカ「猫」カフェ」でもオープンしてみてください！黒猫キャラもいるし、全国PRやふるさと納税のUPにもなりますよ！！（４０代 女性）
- 猫の譲渡会には興味があります。良い出会いがあれば飼いたいという思いもありますが、主人が子猫でないと却下と言います。やはりそういう条件がつくと、なかなか難しいのでしょうか。（４０代 女性）
- 空き家に住みついていてみたいなので、空き家をなくす対策が必要だと思う。（４０代 女性）
- 首輪をつけた猫を含め、減少傾向にない。（６０代 男性）

- 可愛いから餌を与えている人の無責任で税金を使うのはおかしいです。犬と同じに保健所に送りしかるべきことをすべきでは。かわいそうと思うなら、責任を持って飼う飼い主を探すことを市が薦めるべきではないでしょうか。近くのアパート1Fにも猫に餌を与えている人がいます。糞や鳴き声等迷惑。また、土手・線路近くに小屋を建てています。(50代 女性)
- 猫を生活することのデメリットだけでなく、多くのメリット面をもっと大きくPRして猫に対する理解を向上させることが大切と思う。猫の理解を深めることが協力する意識向上の第一歩だと思う。(70歳以上 男性)
- 自宅敷地内で糞の被害が数回あったため、近くに野良猫がいるのだと思っていた。でも最近、ご近所さんが猫を飼っていて、外に出していること、別の近所の方も被害にあっているということが発覚…。室内飼養は義務になって欲しいなと思いました。推奨なんですよ。(30代 女性)
- 猫を飼うようになり、色々勉強しました。外に出してはいけないということも、それまで知りませんでした。飼っていない人も、ある程度猫について知ってほしいと思います。人間だけの地球ではないので。また、野良猫がいなくなれば確実に、ネズミ等の害が増えると思います。「共存」ということを子どもからお年寄りまで理解してもらえるようになったら良いなと思います。野良猫も住めないような街は最低です。(40代 女性)
- 猫は室内飼養というのを知っている方は少ないので、ペットショップ・譲渡会・広報などで告知が必要だと思います。不妊・去勢手術の補助は継続してほしい。捨て猫や野良猫が減ることに繋がる。(50代 女性)
- 動物の害として目につくのは、猫よりもカラスによるゴミあさりです。具体的にどの地域でどんな猫の害があって、どのような協力が必要なのか、広報する必要があるのでは。(40代 女性)
- 猫を飼いたいと思っている人に、飼い主のいない猫を譲渡し、野良猫自体を減らしていければ、それが理想です。(50代 男性)
- TNR活動をしてくださっている方々の努力で我が家周辺の地域猫もよく見るとさくら猫ばかりです。ありがたいと思っています。(50代 女性)
- 野良猫は良いことなしのような印象があります。また近所では、餌やりをしている人も見掛けます。衛生面に不安があるため、適度に駆除してほしいです。(40代 男性)
- TNRへの補助はおかしいと思います。それは飼い主の方が負担すべきものだと思います。(60代 女性)
- 本来、生き物を飼うなら最後まで責任を持って飼うことが当然だと思います。個人の勝手な事情で野放しにしてしまい、その結果行政が出て色々対策をしている現状に疑問もあります。色々な活動をして、被害が減る努力をしているのもわかりますが、飼っている、飼おうとしている人間の意識が変わらない限り、なかなか思ったように進まないのではないかと思います。殺処分という本当にかわいそうなのもある。それをしなくてはいけなくなってしまうことを無責任に餌をあげるだけの人、飼っている方にもっと理解してもらわないと思います。(50代 女性)
- 近隣のお年寄りが野良猫に餌やりしていますが、面と向かって注意することが難しいです。市や保健所等から、室内飼いを薦めるようなお知らせをしてもらえると、地域の野良猫は多少減るかと思います。(50代 男性)

- 野良猫が増えることは好ましいとは思わないが、ひだまりでひなたぼっこをする猫の姿は心癒される。猫のいる街の風景はどこかほのぼのとした平和な感じである。(60代 女性)
- マンション住まいで、猫問題について気にする機会もなく、全くピンと来ないです…。(30代 女性)

○テーマ3 障害のある人とない人が共生できるまちづくりについて

平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、朝霞市においてもノーマライゼーション（※）の理念が普及し、障害及び障害のある人についての理解が深まり、障害のある人とない人が共生できるまちを目指しています。

そこで、障害のある人とない人が共生できるまちづくりについて、お伺いします。

※「ノーマライゼーション」とは、障害のある人と健常者が区別されることなく、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方です。

問26 障害者福祉の言葉について、知っているものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

回答内容	回答件数	構成比（％）
ノーマライゼーション	47	28.3
バリアフリー	160	96.4
ユニバーサルデザイン	116	69.9
障害者週間	57	34.3
障害者差別解消法	42	25.3
障害者虐待防止法	40	24.1
朝霞市日本手話言語条例	9	5.4
知っているものはない	3	1.8

※回答者数 166人

問27 問26で「1. ノーマライゼーション」～「7. 朝霞市日本手話言語条例」と回答した方にお聞きします。その言葉をどのように知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

回答内容	回答件数	構成比（％）
講演会やイベントで知った	17	15.2
学校の授業で学んだ	27	24.1
テレビの特集、ドラマや映画を見て知った	53	47.3
インターネット上で知った	40	35.7
新聞、雑誌、書籍を読んで知った	68	60.7
その他	19	17.0

※回答者数 112人

【その他の御意見】

- ・ 仕事で関係する業務に、少し携わったから。（50代 男性）他同意見9件
- ・ 普段の生活の中で知った。（40代 女性）他同意見1件
- ・ なんとなく。（70歳以上 性別無回答）他同意見1件
- ・ カレンダーに書いてあった。愛鳥週間や読書週間と同じで、何をするのかわからない。（50代 女性）
- ・ このアンケートで知った。（60代 男性）
- ・ 家族に聴力障害者がいるから。（50代 女性）
- ・ 聴覚障害がある友人（市民）から聞いた。（30代 女性）

問28 普段、障害のある人とどのような関わりがありますか。（あてはまるものすべてに○）

回答内容	回答件数	構成比 (%)
家族、親戚の一員として	30	18.2
友人・知人として	18	10.9
学校や職場などで	44	26.7
ボランティア活動などを通して	14	8.5
同じ趣味やスポーツで	5	3.0
まちで困っている障害のある人を見かけたら声をかける程度の関わりがある	31	18.8
ほとんど関わる機会がない	63	38.2
その他	8	4.8

※回答者数 165人

【その他の御意見】

- ・ 近所に福祉作業所があり、あいさつをする程度。（40代 女性）
- ・ 会社のCSR活動を通じて。（60代 男性）
- ・ 仕事で。高齢者ですが、介護職なので。（50代 女性）
- ・ 同じマンションに住んでいるが、子どもなので直接関わっていない。（40代 女性）
- ・ スーパーなどの買い物のお手伝いなど。（60代 女性）
- ・ 近所に障害のある方がいますが、あいさつをするくらいです。（40代 女性）
- ・ 自分自身。（30代 女性）

問29 朝霞市の生活環境は、障害のある人にとって生活しやすいものだと思いますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
思う	3	1.8
まあまあ思う	34	20.4
あまり思わない →問31へ	56	33.5
思わない →問31へ	17	10.2
わからない →問32へ	57	34.1
無回答	4	2.4

問30 問29で「1. 思う」～「2. まあまあ思う」と回答した方にお伺いします。そのように思う理由は何ですか。

- ・ 障害者への交通インフラ等が少しずつだが整いつつある。（50代 男性）他同意見9件
- ・ 障害の程度によって、年間無料のチケット（例えばタクシーチケット）等を渡しているから。（70歳以上 男性）
- ・ 聴覚障害がある方を知っていますが、学校行事や参観日には手話通訳の方がいらっしゃるのを見て。（30代 女性）

- 道路の歩行タイル、駅のエスカレーター、エレベーター、プラットフォーム転落防止施設、駐車場レーン、パンフの点字。（60代 男性）
- 自然環境面、交通面、施設面で、ある程度充実している。（70歳以上 男性）
- 具体的に理由をあげられるような事案がないので「2. まあまあ思う」という回答にせざるを得なかった。（70歳以上 男性）
- 障害者施設の充実。（60代 女性）
- 駅の近くであれば、買い物や病院へのアクセスはとても良い。朝霞台駅はよく車いすの人が駅員さんに助けられてエスカレーターに乗っている。多分、朝霞台駅を通る人は、人を手助けすることに抵抗がない人たちに見える。（40代 女性）
- バリアフリーを感じる場所が多くある（スロープ、段差が低いなど）。しかし反対に、小道が多く、点字ブロックが少ない箇所もある。駅周辺は生活しやすいのでは。（30代 男性）
- 障害のある方がいたら助けてさしあげたいと思うから。（70歳以上 女性）
- 障害者のための支援センターがあり、バスで送迎をしてくれて、その人に応じた仕事（作業）ができる環境があること。（40代 女性）
- 和光に学校があったり、小学校にも支援学級があったりと、設備はあると思うから。（40代 女性）
- 何か不自由があれば、フォローしようとする風土がある。（50代 性別無回答）
- 街で困っている方を見たことがないため。（40代 男性）
- 母が車いすで移動する時、普段使わなくて気が付かなかったが、エレベーターがあちらこちらに設置されているのに感心しました。（50代 女性）
- 公共の施設ではバリアフリーになっていると思いますが、朝霞台駅のエレベーターの設置はぜひお願いしたいです。（60代 女性）
- 障害者の援助等、頑張っていると思います。（60代 男性）
- 娘が障害者として、市内事業所に雇用されている。（60代 男性）
- 車いすで買い物をしている人をよく見掛けるので。（40代 女性）
- 車いすの方が東上線で駅員の助けを受け、電車に乗る姿を度々見掛けたことがあります。（60代 男性）
- 昔は障害者は2～3%近い人がおられました。皆様がその状況を理解なさっていたので、それでも何でもかんでも全てパーフェクトとはならないのです。理想と現実はどちらもどこの世界でも多少はあるのですから！！（60代 男性）

問31 問29で「3. あまり思わない」～「4. 思わない」と回答した方にお伺いします。
そのように思う理由は何ですか。

- 道路環境の悪さ。(50代 女性) 他同意見20件
- 朝霞台の駅にエレベーターがない。(30代 女性) 他同意見8件
- 駅の構造や信号など、改善の余地はあると感じています。(20代 女性) 他同意見2件
- 健常者にとっても坂道が多く、道幅が狭い。入り組んでクネクネしている。バス(交通手段として)の便も悪い。(50代 女性) 他同意見2件
- 朝霞台駅にエレベーターが設置されていないことなどを含め、身体的に障害をかかえている方にはまだまだ不便なことが多いのではないかと感じることもあるため。(40代 女性)
- 朝霞台駅、北朝霞駅ともにラッシュ時は障害者の利用は非常に難しいと思います。(50代 男性)
- 普通の人でも歩道がなかったり道が狭くて危ない。駅から市役所やゆめぱれすに行くのも車いすの人が移動するのは困難。少し前の道から一方通行にした方が良いと思う。(40代 男性)
- 朝霞市は坂が多い街のように思うので、坂だけでも大変だと思う。バスの乗り降りがもっと平坦だと良いと思う。(50代 女性)
- 狭くて歩きにくい道が多い。店はバリアフリーになっていなくて、入りにくいところも多い。(50代 女性)
- スロープやエレベーター、トイレ等気になると。(40代 女性)
- 生活しやすい、という基準がわかりません。(40代 男性)
- 駅周辺や公共施設では、まあまあ整備されていると思いますが、少し離れたところでは、生活しづらいのではないかと思います。(50代 女性)
- 毎日の生活や仕事内で、障害者の人々を目にすることは多く、その人々は自立した大人の方々が多く、たくましい人と強く思う。むしろ、子ども障害者にスポットを当てて、人々の心を引き付ける情報の発信が必要と思う。(70歳以上 男性)
- 自分も含め、障害者の立場に置き換わってみる、感じてみることはできない。そのため、障害者の本心を本当に感じることはできないので、理解できていない。(50代 男性)
- 障害のある人にとって生活しやすいかどうかであって、いくらそうでない人たちが住みやすいと言っても、思い込みでしかないかもしれないから。(30代 男性)
- 買い物をしていてよく見かけるのは店員が学生バイトしかいないところ(時間帯)で、障害のある方への対応に戸惑っているように思う。社員・パートにはある程度の教育があるのだろうが、学生バイトにはマニュアルでしか教えないのではないか。(50代 女性)
- 違いがあるのはわかるが、どう対応したら良いかわからない。(60代 男性)

- 施設面で優しくない。朝霞台駅にエレベーターがない。道が狭くて高齢者や車いすの人など安全に歩けない。(40代 女性)
- 公共交通機関を中心に、バリアフリー化はまだまだだと思います(平均とは思いますが)。(60代 男性)
- 移動が楽ではないのでは。(70歳以上 男性)
- 20歳を過ぎてからの医療補助がないため、将来が不安。(30代 女性)
- いきいきと生活、活動している様子を見掛けない。(50代 女性)
- 例えば、車いすで通行できる道が少ない。→一人で外出できない。または、自動車移動しかできない。(50代 女性)
- 何を行っているかわからないから。(30代 女性)
- 南口駅前駐車場で、障害者用スペースがありますが、出口を出る時に出口の設置位置が悪く、切り返しは何回も必要です。今年の始めに、駐車場の改装があったので、改善されるかと思いましたが、変化なく残念でした。できたら担当者の方が実際に体験すればどれほど大変かわかると思っています。そうすればこの設計にはなっていないと思えます。一般車両も、出るのに苦労しています。料金ボックスの角度が悪い。駐車券と代金が入れづらい。(60代 男性)
- 現状と受け入れ体制、理想と現実が根拠立ててないのでは？(30代 女性)
- 障害のある人が安心して出歩けるような街づくりはできていないと思う(交通や施設面等)。(40代 女性)
- 道路(歩道)に段差が多い。駅(朝霞台)にエレベーターがない。点字ブロックの上に物が置かれている。(50代 女性)
- 駅周辺で視覚障害者を見るが、車と接触しそうで怖い。(40代 女性)
- 私は、障害福祉手帳を使用してバスを乗車していますが、日用品の買い物帰りの際は、両手に荷物を抱えており、手帳を見せるのがとても大変です。大阪では、ICカードに内蔵しているため、わざわざ手帳を見せる必要はないと知りました。それに比べて、まだ朝霞は障害のある人の生活に寄り添えていないように感じます。(30代 女性)
- 坂が多い。歩道の整備が少ない。段差が多い。バスが病院の近くを通らない。障害のある人に優しい＝誰にでも住みやすい市だと思うがそうっていない。図書館など公共施設にも段差も多い。施設の表示等もわかりにくい。(50代 女性)
- バリアフリー等になっていないところがあり、生活に不自由と思う。(50代 男性)
- 公共施設は大丈夫なのかもしれませんね。普段の電車、駅、スーパーなどで不便なのかなと思うことはあります(小スペース、人の多さなどもあり)。(40代 男性)
- 障害者にとって不便だと思う場合が時々ある。(60代 男性)
- 障害は人それぞれ違うので、対応が変わることや苦手なこと、苦手な場面があるなどの理解がないと思う。周りの人たちもどう対応したら良いかわからないのだと思う。(50代 女性)

- ・北朝霞駅と朝霞台駅は、足に障害のある人にとってかなり使いづらいと思います。
(50代 男性)
- ・朝霞台駅を利用しているが、車いすの方に不便に思う。道路に凹凸が多く、夜は街灯が少なく暗い。(50代 女性)
- ・家内は足が悪く、坂や長い歩行が困難なため、今より更にバス等の便が良くなればと願う。和光へ行くバスがあれば…。(70歳以上 性別無回答)
- ・公共施設内で障害者が使いづらいと思う設備がまだまだあると感じます(身体障害の方に対して)。(60代 女性)
- ・普段の生活で関わる機会がないから。生活しやすければもっと機会はあるのではないかと思います。(50代 女性)
- ・障害やその家族が、利用できる制度や施設があることを知らない。わからない。このような人々には、相談できる窓口がどこなのかもわからずにいます。(50代 男性)
- ・健常者でも生活しづらい街なので、障害者には日常生活さえ大変だと思う。歩道が狭く、整備もされていないので外出も大変だと思うから。(40代 女性)
- ・朝霞台駅にエレベーターがない。東上線のアナウンスが多すぎて騒音がキツイ。どこも歩道が狭く、危険。ユニバーサルデザインという視点がほとんど感じられない街です。
(30代 女性)

問32 朝霞市は障害のある人にとって偏見や差別のないまちだと思いますか。

回答内容	回答件数	構成比 (%)
思う	9	5.3
まあまあ思う	38	22.2
あまり思わない →問34へ	22	12.9
思わない →問34へ	5	2.9
わからない →問35へ	91	53.2
無回答	6	3.5

問33 問32で「1. 思う」～「2. まあまあ思う」と回答した方にお伺いします。そのように思う理由は何ですか。

- ・偏見・差別の状況に会ったり見たりしたことがないから。(50代 男性) 他同意見9件
- ・バリアフリーの整備が進んでいる。(60代 男性) 他同意見1件
- ・障害のある方の支援なども広報で伝えられている気がする。(20代 男性)
- ・市役所で行っている、販売会の実施を知っているから。(40代 女性)
- ・「コーヒータイム」みたいに活動している障害者団体がある。(50代 女性)
- ・障害者は色々な特典を与えられていると思う。施設、乗り物等。(70歳以上 男性)

- 偏見や差別を感じるかどうかは、障害のある方がどう受け止めているかだと思うので、正確にはわかりませんが、障害者を受け入れようとする姿勢は感じます。学校の授業(?)で手話を取り入れたたり、広報でも手話の説明があったりするのを見て、障害者への理解を深めようとする姿勢は感じます。(30代 女性)
- 朝霞市の姿勢は、偏見や差別がなく、共生していこうと感じられます。(50代 女性)
- 市の行政等が確立されている。(70歳以上 男性)
- 障害者の方からの不満が耳に届いたことがないので、特に問題意識を持っていない。また、歩行者用信号機の短すぎる交差点(朝霞南口から川越街道へ)健全者でも特に気になる。(60代 男性)
- 体験はないが、不満等の声を聞いたことがない。(70歳以上 男性)
- 具体的に理由をあげられるような事案がないので「2. まあまあ思う」という回答にせざるを得なかった。(70歳以上 男性)
- いちいち説明する必要を感じないから。(70歳以上 男性)
- 公共の場はバリアフリーが整備されている。(40代 男性)
- 深層部については不詳ですが、特に問題となる事案も表面化しておらず、概ね良好な環境にあると料する。(70歳以上 男性)
- 雇用等、前向きな企業があるから。(60代 男性)
- 障害のある人たちがたくさん歩いているし、施設のパザー(クッキー・焼き菓子)をよく見掛けるし、うちのマンションにも数人いますし、普段から同じ街で生活しているのに、偏見も差別も持ってないし、ありえない。(40代 女性)
- 横断歩道で一緒にゆっくり歩いている人を見る。(70歳以上 男性)
- 障害のある人が困難な状況に直面している場面にあったことがない。(70歳以上 男性)
- 特に実感はないのですが…。(40代 女性)
- 障害のある人でも、駅などでたくさん見掛けるので、差別などが少ないのだと思う(テレビ等では差別に苦しむ人は、外出しないと書いていたので)。(50代 男性)
- 偏見、差別がゼロであるとは言い切れないから。(50代 男性)
- 社協があるから。(30代 女性)
- 街で困っている方を見たことがないため。(40代 男性)
- 体育館でボッチャを自由にできるようにして子どもからパラリンピックの競技を知り、体験できるのは良いことだと思う。(30代 女性)
- 偏見や差別もないが、日々の暮らしの中で他人に無関心のことが多いと思うので。(50代 女性)

- ・娘への行政のこれまでの対応。(60代 男性)
- ・駅や駅前のトイレで音声アナウンスがあるのは良いと思う。(30代 女性)
- ・そのような施設も少しはあるみたいと聞いておりますので、全てパーフェクトの社会とはいかないと思います。夢の国の世界があれば私に教えて欲しい～!!(60代 男性)
- ・暮らしやすさとは別だが、人はみな親切なのではと思う…。(50代 女性)

問34 問32で「3. あまり思わない」～「4. 思わない」と回答した方にお伺いします。
そのように思う理由は何ですか。

- ・あまりそういう方と関わりがないので、偏見や差別があるかどうかはハッキリとはわからないが、公の場であまりそういう方をお見掛けしないのは、出掛けづらい街なのかなと思う。(50代 女性) 他同意見3件
- ・偏見や差別がどの言う前にできていない。(40代 男性)
- ・何をもち、差別として考えたら良いのか、わからない。(40代 男性)
- ・障害のある人にとって、偏見や差別がないかと感じることであって、そうでない人が、差別はないと言ってもそれは思い込みでしかないかもしれないから。(30代 男性)
- ・朝霞台～北朝霞の乗り換え時、困っている方々に声を掛ける方がなかなか少ないと見えます。確かに「見守る」ことも大切ですが、人の多さを考えるともう少しお声掛けできればと思います。(50代 男性)
- ・障害への理解がないために、習い事の入会を断られることがある。(30代 女性)
- ・最近は講演会、広報等で市民にお知らせが伝わっていますが、いままでに障害者の方に接する機会がなかったため。(70歳以上 女性)
- ・実際、障害者の方々と接することがないから、想像でしかわからない。(70歳以上 女性)
- ・点字ブロックの上に自転車が停めてあるなど。(20代 女性)
- ・まだまだ差別がないとは言い切れないと思う。(40代 女性)
- ・点字ブロックや音響装置付き信号機の設置は目につくが、それ以外はあまり整備されていないと思うから。(40代 女性)
- ・身近に遭遇した時の接し方等、ためらいを感じます。(60代 男性)
- ・障害のある人を市内で見掛けることがほぼない。生活時間が異なるからかもしれないが、暮らしやすい市ではないからと思った。広報にも子どものことばかりで、市そのものも差別していませんか?(50代 女性)
- ・障害のある人等が街なかで大声を出しても何もできない。(50代 男性)

- ・ 障害者はひとくくりと考えられていて、一人一人対応が少しずつ変わると理解されていない。知的障害・精神障害への理解度は、育て方が原因だのなまけているなどの偏見があるように感じる。(50代 女性)
- ・ 知的障害のある人や外見からではわからない障害のある方たちにとっては、まだ周りの人々に理解してもらうのは難しいと思われる。(50代 女性)
- ・ 学校に障害を持ったお子さんが一緒にいた時に、子どもは手助けしたりもするが、保護者に理解のない方もいるのを見て。(50代 女性)
- ・ 障害のある方に優しい街ではないですよ。自分には関係ないとほとんどの方が思っているのでは。一部の人のことで特別視をして、見ているも見えていない。わかったふりをしているだけです。(70歳以上 女性)

問35 朝霞市では、障害のある人への理解を深めるため、様々な事業等を行っています。以下の中で知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

回答内容	回答件数	構成比 (%)
障害者自主製作品展示販売会 (毎月・市役所1F市民ホールにて)	44	27.7
朝霞市日本手話言語条例施行講演会(毎年2月頃)	4	2.5
スポーツ・レクリエーションのつどい (毎年7月・はあとびあ2Fアリーナにて)	19	11.9
ふれあいスポーツ大会 (毎年9月・総合体育館メインアリーナにて)	29	18.2
障害者週間展示 (毎年12月3日～9日・市役所1F市民ホールにて)	14	8.8
障害者虐待防止センター(障害福祉課内に設置)	7	4.4
朝霞市合理的配慮の提供を支援する補助金 【オリンピック・パラリンピックバリアフリー関連補助金】 (令和元～2年度)	8	5.0
知っているものはない	85	53.5

※回答者数 159人

問36 障害者差別への理解や関心を深めるため、朝霞市が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。(○は3つまで)

回答内容	回答件数	構成比 (%)
広報あさかや市ホームページなどによる啓発	96	62.3
講演会やシンポジウムの開催による啓発	46	29.9
障害のある人と交流するイベントや行事の開催による啓発	76	49.4
タウンミーティングの開催など議論の場の設定による啓発	19	12.3
朝霞市職員や民間の事業者に対する研修による啓発	56	36.4
その他	17	11.0

※回答者数 154人

【その他の御意見】

- ・ 学校の授業など。(30代 女性) 他同意見4件

- ・市が市民との情報の共有のために広告塔の媒体を。（70歳以上 男性）
- ・精神的な試みは大切だと思うが、それ以上に物理的な問題が重要だと思う。朝霞が障害者にとって住みやすい街になればおのずとそういった人たちが集まることになり、結果的にタウンミーティング等に繋がると思う。歩道の整備、交通整備等、障害者ありきではなく「誰にとっても住みやすい街作り」が良い結果に繋がると思う。（30代 男性）
- ・施設や保育を充実させること。（30代 女性）
- ・身体障害者よりも、精神障害者に対してもっと力を入れた方が良いと思う。（40代 女性）
- ・ユニバーサルデザインの施設を整備していく。（50代 女性）
- ・まずは触れ合う機会ということでしょうか。改めて告知を見て参加するのは、気持ちを入れな
いといけなくなりそうです。学校や職場の行事等に組み込まれている方が、入りやすいような
気がします。（40代 男性）
- ・「啓発」だけで理解や関心が深まるのか？具体的なものがないと何もイメージできない。
（30代 女性）
- ・啓発よりも実行。（70歳以上 性別無回答）
- ・障害のある方にとって、どんな接し方をしたら良いか、手伝えることを教えてほしい。
（50代 女性）
- ・点字ブロックや音響装置付き信号機の設置は目につくが、それ以外はあまり整備されていない
と思うから。（40代 女性）
- ・市職員や民間への雇用。日常生活の中に当たり前にいることが大切。特別な活動をしないと
ダメですか？（30代 女性）

問37 障害者差別解消法や障害のある方への理解について、あなたの考えをお聞かせください。

- ・幼稚園や小学校等、早い段階での教育が必要であると考えます。当たり前近くに近くいること
が、お互いの幸せに繋がると思います。（40代 男性）他同意見4件
- ・自身も含め、障害者の方と交流がない人は多いと思う。（50代 女性）他同意見1件
- ・障害者とのコミュニケーションが大事だと思う。（70歳以上 男性）他同意見1件
- ・常人と変わることなく普通に接することが大切かと思っている。（50代 男性）
他同意見1件
- ・普段の生活を健常者と同じように営める街づくりや啓蒙をもっと推進する。（50代 男性）
- ・こちらが良かれと思って声掛けしたことが返って差別である、と障害のある方からお叱りを受
けたことがある。どのように接するのがお互いに一番良いのか？その方法を探れる機会や活動
を行ってほしい。（40代 女性）

- 障害者が困っていたら、声を掛けることはもちろんだけど、普段は特別な存在だとは思わずに共に市民として一緒に活動できたら良いと思います。（５０代 男性）
- 障害者の前に、学校や職場などで、いじめや威張っている先生など、その前にやることがあると思います。差別はある程度しょうがないと思います。（４０代 男性）
- 広報にどのような活動があるのか、暮らしで何が問題なのか、写真やインタビューで使われている施設や必要な設備などを市民の目にとまるようにしてはどうでしょうか？広報の写真は全体的に小さいものが多いです。他の市の広報には、新聞サイズで紙質は落ちますが、カラー写真が多く、もっと視覚的にわかりやすいものもあります。県外の広報記事などを参考にされると良いのではないかと思います。（４０代 女性）
- 一口に障害と呼べど、その内容は多種多様であるかと存じます。理想論ではありますが、障害のあり・なしに関わらず、各々の要望について冷静に意見を交わし合える環境が整えば良いと思います。普段当たり前だと思っている生活が、他者にとっては違う可能性を忘れずにいたいです。（２０代 女性）
- 祭りとか身近なイベントで、もっと交流する機会があれば良いと思います。（５０代 女性）
- 個人的には、「障害がある方」をあえて区別して、交流会を開くのは逆に差別している、特別扱いしているような気がします。正しくはわかりませんが、個性の一つと捉えています。健常者でもできないことはある（歳をとれば耳が遠くなるとか…）ので、相手を思いやる心があれば、基本的には良いのではないかと思います。ただ、街で出会ったり、実際に接したりする機会があったときに、どう手伝ったり接したりしたらより良いか？を教えてもらうような広報の記事などあれば、知識として持てると思います（たまに市の広報に掲載があるような気がします）。講演会、交流会…なかなか時間がない中で参加するのはハードルも高くおそらくコストもかかるのではないのでしょうか。ローコストで、でも確実にポイントを発信できる方法を模索された方が良いかと思います（ホームページや広報紙が良いのではないのでしょうか）。（３０代 女性）
- 障害のある方の立場になって物事を考え、行動しようと考えている。（６０代 女性）
- 「障害者」という字体、声も強い差別感が気持ちにあるかと思う。令和に入って一新。もっとフラットなイメージのその人を心から思えるような呼び方、見方のできる名前を探してください。（７０歳以上 男性）
- 地道に一步一步市民が自覚し、前向きに前進することです。（７０歳以上 男性）
- 外見からはわかりにくい精神的な障害のある方々にはどんな対応が良いのか、今後よく知っていきたいと思っています。また、そのような方々をケアしている家族や施設職員の方の側の現実のご苦労を踏まえた法になっているのか、現実に即した法になってくれたらと思います。特に、障害のレベルが犯罪になってしまうような重い場合は、どんな受け入れが可能なのでしょうか？（５０代 女性）
- まず、健常者⇔障害者という考え方をなくすべき。障がいは「害」ではない。（４０代 女性）
- とても難しい問題だと思う。（３０代 男性）
- 障害者に対して常にあたたかいまなざしを持ち、思いやりの心を持つことだと思う。（７０歳以上 男性）

- 特別に障害のあるなしに関わらず、全ての人に対して思いやりをもって関わられるような社会になれば良いと思う。その上で、障害のある方がどういったことで差別を受けていると感じるか、困っていることがあるかなど知る機会があると良いと思います。（４０代 女性）
- 健常者にも障害のある方にも歩み寄りが必要。こちらが良かれとっての行動も受ける側にしたら「特別扱い」となってしまう時が多々ある。何度も何度も交流を持つことで互いの思いが理解していけると思う。言葉にしたいわけではないが、障害があるから「当たり前」みたいな行動を見掛ける時がある。（５０代 女性）
- 障害者への対処方法がわからない。少なくとも盲目用の歩行ブロックの上を歩かないようにしている。近くに障害者がいたら、邪魔しないようにしている。このくらいしか現時点では協力できていない。（６０代 男性）
- 私の身近な障害者は、子どもの友達で幼稚園の時は自閉症の子、小学校ではADHDの子がいますが、関わることはとても良いことだと思っています。特に小さい子は大人のように偏見もなく自然と助け合い、受け入れているように感じました。小学校でも授業の中で関わる機会があり（そのような学校の訪問など）とても良いと思いました。（４０代 女性）
- 職場で障害者の方が何人かいます。理解はしているつもりでも、突然の行動に驚いてしまうこともあります。今回のアンケートを通して、自分の意識を変えていかないといけないなと思いました。（４０代 女性）
- イベントやスポーツ等、家から出掛けて自分の興味のあることに積極的に参加できるように支援する。（５０代 女性）
- 普通の生活では障害のある人と接する機会はなかなかありません。市役所職員として働いてもらうことで、市の考え方や障害者に対する認知も広がると思いますが。ただし、市役所内（職員側）はごちゃごちゃしていて、車いすも通れそうにはないですが。まずは市の職員がもっと理解した方が良い。（５０代 女性）
- 様々な障害者がいる中で身近な障害者は極一部なので、他の障害者にどのように接して良いのかわからない。頭で理解していても実際に接して差別をなくすことはかなり困難である。まずは障害者の充実を理解することから始めてみようと思う。（６０代 女性）
- 障害者の欠点はわかるが、上手なところがわからない。何かあるはずなので、それを伸ばす。単に欠点を補充することでは、障害者を受け入れたことにはならないように思う。（６０代 男性）
- 障害を持っている方が生活の中でどのような苦勞をしているか、当事者でないとわからないことも多いので、そのようなことを話し合える場の設定が大切だと思う。（４０代 女性）
- とにかく「対話」の機会を増やすことです。小学校からこの取り組みをスタートさせ、親近感と考える習慣を備えさせてあげることかと思っています。「自ら考え、自ら行動する」次代の人々を育てていくことも大切ではないでしょうか。（５０代 男性）
- 現在、小学校で実際に車いすに乗る機会が授業として取り組まれているのはとても良いと思います。車いす以外でも、目が見えない方や高齢者体験など、どんどん取り入れてほしいと思います。（５０代 女性）

- 障害者を差別するつもりはありません。むしろ、もっとどうしてほしいのか発信してほしい。NHKで「ここがズレてる健常者。障害者100人がモノ申す！」という番組がやっていたそうです。そういう、障害者からのこうしてほしい、こうしてほしくない、の生の声が聞きたい。障害者ってひとくりにする方が差別なのでは？（というのは、言いすぎですね！）。とにかく、人によって手助けしてほしい人としてほしくない人がいると思うので、障害を持っている人、一人一人に違ったあたたかい対応ができると良いと思います。（40代 女性）
- 何かをしてあげるといよりも、障害のある方も安心して行動、活動ができる環境が整っていることこそが、差別解消ではないかと思う。例えば車いすの方が駅から市役所へ行く場合など、とても大変だと思うから。（50代 女性）
- そもそも理解するという障害者の方へのスタンスが気に入らない。弱い者、劣っている者、まもるべき者という考えが潜在的な差別の温床になっているように感じる。身体的・精神的に差があるのは健常者同士でも変わらない。まずは公平であること、公平にすることではじめて前提が整い、平等の準備ができる。朝霞市には全ての市民に対して公平な行政を行う街であって欲しいと願っている。（30代 男性）
- 色々手助けしたいと思いますが、声を掛けて迷惑でなければ良いことだと思います。（60代 女性）
- 年齢で区切るのではなく、必要な人に必要なだけのサービスや医療的補助が受けられるようにしてほしい。作業所などの受け入れ人数の増加や、作業所を増やしてほしい。死ぬまで障害と付き合っていくなくてはならないので、周囲の理解を深めることや、法の整備など、できることをやってほしい。（30代 女性）
- 少しでも多くの啓発を市の方はしていただき、市民の皆様に理解できるようにしていただく機会を提供していただきたい。理解を深めれば、自然に共生できる何かが生まれてくると思います。（70歳以上女性）
- ある人、ない人の区別をすること自体が理解のないことと考えます。人間同士なので、自然な付き合いが良いと考えます。（70歳以上 男性）
- 駅（朝霞台）のプラットホームにホームドアを設置した方が良いと思います。目の悪い方が、何人も利用されているので、あぶないだろうし、怖い思いもされているのではないかと思います。後、エレベーターがないのもあり得ないことだと思っています。（40代 女性）
- 猫の問題と同じように”今”を共に生きている仲間と捉え、命を尊重する。（70歳以上 女性）
- 誰もが生活しやすい世の中の実現に向けて必要不可欠なもの。困っているときには互いに助け合うことが大切だが障害のある方に対してどこまで手助けすべきかがわかりづらい（本人の意思やできることは尊重すべきだから）。（30代 男性）
- 1. 商店街に行く信号機に青になったら音楽が出る。2. 道路・歩道をバリアフリーにする。3. 歩道と自転車通行は別にする。（70歳以上 男性）
- 市民皆で協力して住み良い朝霞市にしたいです。（70歳以上 女性）
- 差別のない社会への実現に向け、市や団体、企業での公演や活動を増やし、障害者の採用を更に増やし、理解を深めていくことが重要。（50代 男性）

- 10年以上前のことになりましたが（現在も存続しているのでしょうか）、八小は和光養護学校の児童たちと交流がありました。八小の、しいの実祭りで軽度の子たちは手を繋いで遊び、ベッドのまま遊びに来た子には皆で取り囲み話し掛けていました、その光景はとても自然なものでした。真の教育であり、教育の原点でもあると思います。日本中に、世界中に広がりますように。（50代 女性）
- 障害のある方と言っても、障害は種々あると思います。見た目でわかる障害のある方については、健常者のそれぞれが、自分でできる範囲内で支援をするのは、健常者の常識であるし、そういった社会を作るべく努力するべきで、そのためには何ができるか、何をすべきか、啓発の要があると思います。見た目でわからない障害のある方については、一般人には、対応は無理ではないかと思われます。（70歳以上 男性）
- 身近にいないのでよくわかりません。困っていたら声掛けをしたいと思っていますが、実際にできるかは不安です。（50代 女性）
- 知識不足だし、不勉強で申し訳ありませんが、障害者差別に関しては理解していないのが現状です。もし情報提供があれば学習したいです。（40代 女性）
- 同じ人間なのに、障害者の方を見かけた時に”障害者だ！”とってしまう。見てしまう。そんな自分も嫌ですが、ちょっとした違いがわかるからこそ、見守ってお手伝いが必要な時には進んで手を貸してあげられたら良いと思います。（40代 女性）
- 障害のある方とない方が自然に共に暮らし、働き、過ごすことが理想だと思います。朝霞市内ではそういった環境があるように思えます（以前、なかよしぱあくのなかよしカフェで障害者の方が作っていただいたランチを食べたことがあります）。（30代 女性）
- 働きながらと言うのは時間帯などで難しい。体育館とかでのジム使用も女性限定の日や時間があってもいいのでは。いかにも鍛えているという感じの方が使っていたり、待っていると遠慮してしまう。（50代 女性）
- ボランティアで交流をする等、交流し、理解をする場が増えると良いと思います。（30代 女性）
- 忙しくて参加したことがありません。なので、よくわかりません。（50代 女性）
- 障害のある方のできることを、できないことを理解することが必要だと考えます。闇雲にお手伝いするのではなく、相手の方を尊重して声掛けすることが大切だと思います。（60代 女性）
- 小中学校の道徳の授業で、障害者に対する差別や偏見をなくすように教育、指導していくことが大事だと思います。来年はオリンピック、パラリンピックもあるので、パラリンピックの映像を見せて、障害のある方でもスポーツで活躍できることを授業で教えることも大事だと思います。（40代 性別無回答）
- 障害のある方々との交流は、社会人・大人になってからでは、時間や余裕等の問題でなかなか難しいと思うので、保育園・幼稚園・小中学校で交流する機会を増やせたらと思います。身近にそういう方々がいないと意識は高まらないです。（60代 女性）
- インフラとしてのバリアフリーが第一歩、それと並行して市役所等の公的機関での障害者の積極的雇用がベスト。市役所の受付・案内係の方を2人制として、うち1人を障害の方にしたらアピール度MAXですよ！（40代 女性）

- 普段、障害を持っている方と接することがほとんどないため、何をすればいいかわかりません。お手伝いできることがあれば、関わりたいと思うこともありますが、もしかしたら声を掛けられるのが嫌な方もいるかも？と思うと、いつも静観してしまいます（結局何も理解できていません）。遠方に住む義理の家族に障害者がおり、みていますと、本人・家族の思いと周りの方の考えに乖離があることもあるので、その辺りの意思疎通がしやすい環境があればいいかと思います。（40代 女性）
- 小学校の普通学級に、障害があると思われる子が通うというのが年々増えている気がする。線引きする訳ではないけれど、教師の負担が増えていると感じるので、市としても積極的に関わって判断するべき。（40代 女性）
- 車いすや白杖など、外から見える障害ではない方が多くいると思います。私は目が見にくい時がありますが、無灯火の自転車が多く、怖い思いをします。せめて自分自身は、他人に迷惑をかけないように行動したいと思います。（50代 女性）
- 障害のない人は理解しにくいことがあると思う。障害のある人自体の啓発も大切なのでは？（50代 女性）
- 精神障害のある方が地域と上手く生活していくのは難しいと思う。また、それを支える家族も行政・地域コミュニティ・専門職の人たちが皆で支える必要があると思う。（40代 女性）
- 障害は、目に見えるものから、目に見えないものまで様々な形があります。大切なのは、障害がある人・ない人という風に捉えるのではなく、目の前に困っている人がいたら寄り添うという真心だと思います。（30代 女性）
- 障害者への接し方を含め、何が必要か理解を深めるため、考えていきたい。（60代 男性）
- 障害のある方が助けを求めているか、求めていないかの見分け方が難しいといつも思ってしまう、なかなか援助できない。身内だと聞きやすいが…。（30代 女性）
- 障害者差別解消法は、当たり前のことを法にしないといけない世の中が悲しい。障害のある方が暮らしやすい街は誰とっても暮らしやすい街だと思う。子どもは小さく軽いけれど、障害のある方の世話は大変です。そこをもっと理解してお金をかけるべきでは。障害のある方＝ご高齢の方でもあると思うので、もっと税金を納めてきた人たちに、思うままに動けない人に思いやりを持つべきだと思う。（50代 女性）
- 9月号に知らせのあった、このような団体が活動しているというのを初めて知りました。まずは障害者への先入観（良し悪しに関わらず）を捨て、わかりやすくその生活の実態を知る（理解することから始めないと、何が必要なニーズ（金銭面・物資面・肉体面etc）なのかがよくわからない。（70歳以上 男性）
- 自分も障害を持つようになるかもしれないので、障害のある方への差別意識はありません。外からではわからない障害もあるので、常に相手の立場に立って考えていきたい。困っていることがある人はどんどん言ってほしい。自分からはなかなか勇気が出ないので。（40代 女性）
- 私は出身は朝霞ではありませんが、学生の、しかもより若い頃の方が触れ合う機会自体が多かったと思います（行事などで）。大人になってもそういった繋がりがうすくならないよう、企業や各コミュニティで続けていければ理想とは思っています。（40代 男性）

- 十分な知識はありませんので、答えることが難しいのですが、一般の人の中に入って生活することが障害者にとっても、それ以外の人にとっても重要なことではないかと思います。
(60代 男性)
- 子どもを育てる身として、子どもたちが障害について疑問を抱いた時にどのように説明をするのが良いのか悩む。例えば「何で目が見えないの？」と聞かれて「産まれた時からかな？おケガしちゃったかな？病気にしちゃったかな？」と一緒に考えます。子どもが差別の気持ちを持たないよう、+αで言葉をつけ加えたいのですが、考え込んでしまいます。障害をお持ちの方々に子どもたちにどのように伝えるのが良いのか、生の声をお伺いしたい。そういう声をまとめて広報あさかに載せていただけないのか？と思います。(30代 女性)
- 音が苦手でヘッドホンをしていたり、人の多い場所が苦手な外出できなくなったり、介助が必要だったり、一人一人違うことを理解できたらと思います。(50代 女性)
- 家族として接していても、正直とても大変であり、周りにまで気配りをするのはなかなか難しいが、今後はできることからやっていきたいと思う。(40代 男性)
- あまり接する機会がないので、正直よくわからない。障害の有無に関わらず、困ってる人がいたら助けることのできるような人になりたいし、子どもにもそうなってほしい。
(40代 女性)
- 仕事柄、障害に関する勉強もし、障害者の方と仕事も一緒にしているが、障害の内容は一人一人違い、理解することが非常に難しいと感じています。(50代 男性)
- 障害のある方もない人も安心して生活できるのは理想ですが、それぞれの同じ立場にはなれないため、多くは理解してあげられないことも多く、日常どんな手助けをしてあげれば良いのか知識もなく、積極的に接するのを避けてしまっています(特に知的障害や精神障害の方々)。 (50代 女性)
- 理解を深めるためには啓蒙・教育しかないと思います。義務教育の期間に行うことが一番良いのではないかと思います。まず知ることが大切だと思います。精神障害の方(一見しただけでは障害者とわからない方)は重度ではない限り、身近に普通に生活(?)していらっしやるので、対応が難しいことを知っていなければならないと思います。(60代 女性)
- 日常生活の中で、隔離されず、できる範囲の労働や学習を共にすると、自然と理解や優しさが生まれると信じています。(30代 女性)
- 障害のある方が普通でない人と暮らしていける社会になってほしい。どんな手助けが必要かもわからないではいつまでたっても変わらないのではないかと思います。(50代 女性)
- 変に肩に力を入れず、自然体でその場その場で助け合うことができるよう心掛ける。
(60代 女性)
- 障害のある方を理解したいですが、色んなパターンがありまして、足・腰・歩行の悪い人も障害者でしょうし、知的な方も含めて理解したくとも相手のことがよくわからない、どう接すれば良いのか。オリンピックもあります。パラも良い機会です…。勉強会なり障害のある方とない方との接点を作ってください。参加したいですし、協力もします。差別のない朝霞をつくりましょう。(70歳以上 女性)

- その件は、市の職員がメインとなって考えてほしい。市の職員は我々市民の生活や、住みやすさを第一に考えて、もっと努力をしてほしい。このアンケートの3つのテーマをもっと考えて、良い方法に導いてほしい。そのための朝霞市14万人の代表みたいなもので、給料をたくさんもらっていると思われますので…。そして、20数名の市議の人たちにももっと参加してもらって、もっと努力してほしいと思っております。もう少し、思考力・実行力を連動してほしい。(60代 男性)
- 手厚くしすぎると、逆差別という意見が出る。最終的には個人の意識による部分が大きいと思われるため、初等教育の時点で組み入れることが効果的である。(40代 男性)